



インターハイを目指して(6月8日)

第1回全道高等学校カヌー選手権大会がかなやま湖で開催されました。この大会は今年度より、北海道高等学校体育連盟にカヌー競技が加わったことから新設された大会で、南富良野高校カヌー部の生徒6名のほか、日高管内静内高校の生徒1名が出場しました。競技はカヤックの1人乗りと2人乗り、4人乗りで、それぞれ距離が5百メートルと2百メートルのあわせて6種目で、選手の皆さんはインターハイ出場を目指して懸命にカヌーを漕いでいました。

南富良野高校カヌー部の生徒は、カヤックの1人乗りでは惜しくも優勝を逃がしましたが、そのほかの種目では優勝し、8月5日から山梨県で開かれるインターハイ出場を決めました。

全国大会に出場する選手は次のとおりです。
林 拓磨選手(3年) 深尾 公博選手(3年)
近藤 賢之介選手(1年) 星越 諭選手(1年)



ナイスショット!(6月3日)

教育委員会主催の町民パークゴルフ大会がやわらぎ公園パークゴルフ場で行われ、参加した皆さんは、新緑の芝生のコースで、爽快にプレーを楽しみました。25人が参加した大会は18ホールのコースを2回まわり、36ホールの合計スコアで順位を競いました。競技の結果、男子の部は中鉢富士男さん(幾寅) 女子の部は清水野路子さん(落合)が優勝しました。

一味園「春の運動会」(6月7日)

特別養護老人ホーム一味園で春の運動会が行われました。入所者と職員のほか、千里大学の学生も参加してそれぞれ紅白に分かれ、玉入れや満水リレー、綱引きの3種目の競技を行い、楽しいひと時を過ごしました。



「おはなし隊」来町(6月10日)

幼児や児童向けの絵本などをトラックに搭載し、全国を各地を訪問している講談社の「おはなし隊」が来町し、多くの親子が訪れ、好きな絵本を読んだり、読み聞かせなどが行われました。



町老人クラブ連合会のゲートボール大会が行われ、町内各地区から7チーム40名の選手の皆さんが出場しました。この日は雨天のため、町民体育館での開催となりましたが、選手の間には真剣な表情で競技に取り組んでいました。



老人クラブゲートボール大会(6月8日)

カメラレポート

CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(52-2115)までお知らせください。

町の魚イイトウの採卵(5月22日)
町立水産種苗センターでイトウの採卵作業が行われました。今年度はメス8匹から約2万粒の卵が採取され、順調に進めば7月下旬にも孵化する予定です。



田植えを体験(6月2日)

農業を体験しながら、農業の大切さや物をつくる喜びを学ぼうと、下金山小学校の児童が田植えを体験しました。この日は気温が低く肌寒い中での実施でしたが、手足を泥まみれにしながら元気に「はくちょうもち」の苗を植えました。秋には、自分達で稲刈りや脱穀作業も行い、収穫した米を使って餅つき集会を行う予定になっています。



牛の入牧始まる(5月29日)

今年も、富良野広域串内牧場で牛の放牧が始まりました。富良野沿線市町村と恵庭市や北広島市などから958頭の牛がトラックによって運び込まれ、広大なあざやかな緑の放牧地に放された若牛が、大きな声で鳴きながら、元気に跳び跳ねていました。



有事に備えて、離着陸訓練(5月17日)

災害などにおける緊急時を想定した自衛隊のヘリコプターによる離着陸訓練が山村広場で行われ、誘導員の指示に基づいて、離着陸を繰り返していました。

